

香川県交通事故多発要因調査

報告書

平成 24 年 3 月

香川県交通事故多発要因調査委員会

■■ 交通事故多発要因調査の報告に当って ■■

近年、全国的に交通事故死者数や負傷者数が減少する傾向を示す状況下において、香川県における交通事故死者数や負傷者数も減少する傾向を示してはいる。しかし、人口 10 万人当たりで見えた場合、香川県は、依然としてワースト上位に位置しており、このために、香川県を「交通事故多発県」とする不名誉な表現が常態化している。

これを改善するべく、本調査研究では、香川県における交通事故の実態を詳細に分析し、これら事故が発生する要因について、道路交通環境、県民意識及び社会環境等のさまざまな側面から考察を加えようと試みた。そして、得られた結果をもとに、今後の香川県における交通安全施策に反映させようと企図していたのである。そこで、「交通事故多発要因調査委員会」及び「同ワーキンググループ」が設置され、随時得られた情報をもとに、メンバーの間で討議が交わされてきた。

ただし、さまざまなデータを検討した結果、説得力のある「単一で強力な要因」は見出し難いという結論に至らざるを得なかった。香川県の場合、個別の要因は全国平均と比較して「誤差」と見られる範囲での違いであり、これらが累積して、ワースト上位を記録していることが推察された。例えば、全国平均より 5% 増のデータが 3 つ重なった場合は、 $1.05 \times 1.05 \times 1.05 = 1.16$ となり、これにより全国平均より 16% 増を記録することになる。平成 23 年の香川県の人口 10 万人当たりの死者数データは 7.63 人で、全国平均のそれは 3.60 人なので、発生頻度は 2 倍以上（負傷者も同様な傾向）となっている。これより、かなり多数の（少し上回った）要因が累積していると考えざるを得ないのであった。

そして、既存の公表データだけでは、なぜそのデータが形成されるのかという、その先の部分に踏み込むことができなかった。そこで、今回の分析は、とりわけ多発傾向にある、高齢者、自転車、交差点に焦点を絞り、この発生要因について考察を行ったものである。詳細な内容は本論部分を参照していただければ幸いであるが、今回得られた結果をもとに、今後さまざまな対策が盛んに実施されることを願う次第である。

これらのうち、とりわけ重要となるのは、交通安全教育であろう。ただし、教育には一般的に即効性が望めないことから、今後交通事故を減少させていくためには、地道で遠回りな対応とならざるを得ないだろう。そして、一つ一つ要因にあたると思われるものを改善していく必要がある。そのためには、まず県民全体にこのことを助長するムード作りが重要で、言い換えれば県民の一人一人に「交通事故を減少させること、ワースト上位の汚名を返上すること」についての意識改革が必要とされるのである。

平成 24 年 3 月

香川県交通事故多発要因調査委員会
委員長 正岡利朗

目 次

■ ■ はじめに ■ ■	1
1 調査の趣旨	1
2 交通事故多発要因分析に当たっての基本的な考え方	1
(1) 交通事故統計の分析	1
(2) 多発要因の分析における重点項目	2
■ ■ 第1章 ■ ■ 交通事故を取り巻く本県のプロフィール	3
1 人・車・道路	3
(1) 年齢別人口推移（全国との比較）	3
(2) ブロック別人口推計	4
(3) D I D人口	7
(4) 運転免許保有者数と自動車保有台数	9
(5) 自転車販売台数	11
(6) 道路構造	13
(7) 道路整備、交通規制等	14
2 生活環境等	16
(1) 公共交通機関の利用状況	16
(2) 通勤通学の利用交通手段	17
(3) 医療施設	18
(4) 大規模小売店舗	19
3 道路環境、生活環境と交通事故発生状況	21
■ ■ 第2章 ■ ■ 交通事故多発要因分析と考察	29
1 高齢者の交通事故	29
1-1 高齢者の交通事故分析（高齢者の事故はなぜ多い？）	29
(1) 高齢者の交通事故状況	29
(2) 高齢化率と運転免許保有高齢者数の推移	30
(3) 市町別運転免許保有高齢者数	31
(4) 高齢者事故件数の推移	32
(5) 高齢ドライバーの自動車事故件数の推移	33
(6) 高齢ドライバー（第1当）の事故の特徴	34
(7) 高齢歩行者（第2当）の事故の特徴	40
1-2 高齢者の交通事故多発要因の考察	45
2 自転車の交通事故	47
2-1 自転車の交通事故分析（自転車事故はなぜ多い？）	47
(1) 自転車の交通事故状況	47
(2) 自転車事故の特徴	48
(3) 自転車の交通ルール・交通マナー	51
(4) 13歳～18歳の自転車事故	56
2-2 自転車の交通事故多発要因と考察	60
3 交差点での交通事故	61
3-1 交差点（道路交通環境）における交通事故分析	61

(1) 交差点での交通事故状況	61
(2) 交差点事故の特徴（高齢者）	61
(3) 交差点事故の特徴（死亡事故）	62
(4) 信号の有無による交差点での交通事故状況	62
(5) 信号の有無による交差点での交通事故状況（高齢者）	63
(6) 信号の有無による交差点での交通事故状況（死亡事故）	63
(7) 香川県における最近の死亡事故の実態（H22.1～H23.12：分析数44件）	64
3-2 交差点（道路交通環境）における交通事故多発要因の仮定と考察	65
3-3 事故危険ポテンシャルの高い交差点への改善策	66
■■ 第3章 ■■ 交通事故多発要因に係る課題と対策の方向性	70
1 高齢者の心身機能低下等への対策	70
2 若年自転車運転者に対する総合的な事故対策	70
3 交通ルールの遵守と交通マナー実践の徹底	71
4 高齢者、自転車に配慮した道路交通環境づくり	71
5 自動車に過度に依存しない社会、生活環境づくり	71
6 ボランティア等、民間活力のさらなる活用	72
■■ 資料編 ■■	73
1 各指標における香川県の全国ランキング	74
2 ドライバーからみた交通安全に関するアンケート調査	75
2-1 調査概要	75
(1) 調査方法	75
(2) 調査票（一般ドライバー）	76
(3) 調査票（プロドライバー）	78
2-2 一般ドライバーへのアンケート結果	80
(1) 回答者の属性	80
(2) 講習種別別回答構成	82
(3) 設問別免許取得年数別回答構成	83
(4) 自由記述の集計結果	85
2-3 プロドライバーへのアンケート結果	86
(1) 回答者の属性	86
(2) 団体別回答構成	87
(3) 設問別免許取得年数別回答構成	88
(4) 自由記述の集計結果	90
3 委員会設置要綱	91